

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係（毒ガス問題） 第一次移送(4)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43780

佐藤總理、ハ、ア、ラ、米統參議長會談

事務次官
事務官
主任
係長
課長
係長
主任
係長

秘
無期限
3部の内
2号

アフリカ局長
参事官
参事官
北米局長

アジア局長
参事官
参事官
中国局長

出務局長
参事官
参事官
出務局長

調査部長
企画課長

佐々木隆一 氏より未読電長を拝受

昭46. 1. 19

奉保

1月17日(土)午後 4-75-1 米協会参事官の送
迎表敬の件、内容につき、通次へ送る区岐電

を伺ったところ、次へ送る(松谷参事官 鈴木
防衛参事官 参事)

1. 北米和平会議

「米」参事官の報告より、75-2号に送るべく
~~北米和平会議~~ (北米)

北米和平会議の強硬派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展

は十分と見て、

総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応

を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

2. 北米和平

GA-6

外務省

「米」参事官の報告より、75-2号に送るべく
北米和平会議の強硬派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展
は十分と見て、
総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応
を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

3. 米艦隊 在日米海軍基地等

(1) 総理に 昭46. 1. 19 米艦隊の増派の意向
を伺ったところ、次へ送る(松谷参事官 鈴木
防衛参事官 参事)

「米」参事官の報告より、75-2号に送るべく
北米和平会議の強硬派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展
は十分と見て、
総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応
を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

米艦隊の増派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展
は十分と見て、
総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応
を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

米艦隊の増派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展
は十分と見て、
総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応
を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

米艦隊の増派の意向、この1月19日の下院投票
の結果を待たずして、従って北米和平の進展
は十分と見て、
総理に北米和平の進展を報告し、早急な対応
を要するもの、情報入手と関係の調査を要する。

GA-6

外務省

住) の組織 (base structure) は どの程度に
密に連なっているか。

(B) 総理府、自衛隊など 考へて どの程度に 日米
府との emergency の対応 (緊急事態) 準備、危機管理

備を維持 (24時間) 考へて どの程度に 平時の
防衛 極限まで 遠慮なく 佐世保、大分、

山口、熊本、法律上 (住居) 投訴は どの程度
佐世保、大分、山口、熊本、法律上の 難問に

なるか。今後 日米政府内 どの程度に
防衛と 連絡、投訴 どの程度に 連なっているか。

中
A. 自衛隊の 配置

総理府、日米 関係の 連絡、自衛隊の 配置
どの程度に 連なっているか。

注意を要する。中米の 海軍力 どの程度に 中米の
防衛に 連なっているか。

5. 中米内政

総理府、中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係 どの程度に
中米内政 どの程度に 日米 関係

6. 中米内政

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

7. 中米内政

中米内政 どの程度に 日米 関係

中米内政 どの程度に 日米 関係

5. 沖繩問題
総理は、沖繩問題については、既に、自衛隊の
駐屯地を、沖縄県内に、移す、或は、沖縄県
に、自衛隊の駐屯地を、移す、と述べた。

6. 沖繩問題
自衛隊の駐屯地を、沖縄県内に、移す、(沖縄
県内に、自衛隊の駐屯地を、移す、)と述べた。
総理は、沖繩問題については、既に、自衛隊の

駐屯地を、沖縄県内に、移す、と述べた。
自衛隊の駐屯地を、沖縄県内に、移す、と述べた。
(自衛隊の駐屯地を、沖縄県内に、移す、)

7. 沖繩問題

「A」は、^議米国会との関係で、財政上、経済上の問
題が解決されるまで、軍事上の問題は早く片附く

(quickly fall in place) であり、自衛隊の撤去も
expedite (速く) するに、至るべきであると打談

会上問題が出てくると述べた。

総理は、財政上の問題は、大綱は合意した

というが、細目については、検討中であると述べた。半側で財務長官の
交替もあり、時間が掛るかも知れない。返還協定

交渉については、好意的に迎えており満足していると答
えた。

(その他、総理は、沖縄人の心遣いについては、方々
のことから、自衛隊の基地返還と軍容解雇等について

は、これに対し、「A」は、打談会上 additional funds
を要求するとなると、難しくなると述べた。

総理は、山中長官がレポート持参とも会ったこと故
に、何れ詳細につき報告を速く述べた)